福県医発1765号（総）
平成20年11月20日

各医師会長　　殿

福岡県医師会
会長　横倉義武
（公印省略）

麻生総理大臣の発言に対する抗議について

今回、全国都道府県知事会において、新聞紙上等で報道されております、麻生総理大臣の発言に対しましては、ご存知のとおり、日本医師会唐澤会長と竹嶋副会長が本日官邸で麻生総理と面談し、抗議文を直接手渡されました。15時53分に配信された時事通信の記事によりますと、自身の発言を陳謝した上で「誤解を与えているようで、不適切であり、撤回する」と述べたとのことであります。

本会といたしましても、別紙のとおり抗議いたしましたので、お知らせいたします。

小郡三井医師会より　　**会長　丸山　泉**

麻生総理大臣の全国都道府県知事会における
発言に対する抗議

１１月１９日に官邸で開催された全国都道府県知事会において、麻生総理大臣が、医師不足問題に関する発言に対し、「(医師には)社会的常識がかなり欠落している人が多い。ものすごく価値観が違う」「小児科、婦人科といったところは急患が多いから、みんな医師が引く。そういう診療科は点数を引き上げればいい」更には、「これだけ医師不足が激しくなれば責任は医師側にあるのではないか」と述べ、医師不足が深刻な現状には医師の資質自体にも原因があるとする発言があった。

長年にわたる政府の社会保障費の伸びの抑制が医療崩壊を顕在化させたことは明らかであり、日本医師会が再三に亘る提言を行ってきたにも関わらず、救急医療体制の弱体化、地域・診療科による医師不足等の問題を責任転嫁するなど言語道断である。国民の生命と健康を守るため、そして地域医療を守るため日々奮闘努力している医師の姿勢を踏みにじるものであり、この度の麻生総理大臣の発言に対し抗議し、総理自身の認識を改められることを強く求める。

平成２０年１１月２０日

福岡県医師会

会長　横倉義武